

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で話し合い、利用者同士、職員と利用者、職員同士、地域とGHが共に生活をし協力していけるように、利用者の言葉である「思いやり、助け合い、笑いあい」をホームの理念としている。		
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームのリビングに提示し、日頃から、またカンファレンスなどで伝えている。		
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族には来訪時に伝えている。地域の方には取り組めていない。	○	ホーム便りを発行し、その中に記載し、地域の方々への理解に取り組んでいきたい。
理念と共有 3項目中 2項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日頃より、日々の挨拶、利用者と散歩や日向ぼっこを行った際は挨拶を交わしたり、話しをしたり気軽に立ち寄りてもらえるように努めている。		
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会には加入しているが、人間的な理由もあり地域活動に参加出来ていない。	○	琵琶湖一斉清掃などへの参加をはじめ、少しずつ地域活動への参加を行っていききたい。
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者への取り組みは出来ていない。	○	認知症における相談窓口を設置し、地域における認知症ケアなどへの貢献を行っていききたい。
地域とのつきあい 3項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	意義について理解し、改善について取り組む意識を持っている。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度、行事や現状報告を行っている。意見やアドバイスがあった場合はサービスの向上に活かし、地域包括支援センターとの協力を図っている。		
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センターの方は運営推進会議に参加してくれているが、市の職員とは連携が行っていない。		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	母体で勉強会がある。現在対象者はいないが、必要な人が現れたときは活用できるよう支援していく。		
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルがあり常に確認できるようにしている。母体で勉強会もあり、日頃のケアから利用者の状態の観察を行い、防止に努めている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 5項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	文書や口頭で十分な説明を行い理解・納得を図っている。		
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者へは日頃より声掛けをして聞いたり、家族からは面会時に聞いたり情報収集に努め問題があれば話し合いをしている。		
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	暮らしぶりや健康状態、金銭管理は面会時や電話、毎月の郵送にて報告している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に苦情BOXの設置や、家族アンケートを実施したり、運営推進会議への参加を促したりと機会を設けている。		
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃からの会話から意見や提案を聞き、統括や事業所長が来たときや、会議などで伝えている。		
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	月に1回のカンファレンスや状況に変化に合わせてカンファレンスを行い、必要な時間帯の職員の確保を行っている。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の働きやすい職場作りに努め離職を防ぎ、利用者に対しても必要最小限のダメージに抑えられるようフォローに努めている。		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に2回職員の力量評価を行い、スキルアップ出来る様になっている。また段階に応じたGH研修や法人全体の研修があり参加できるよう勤務の調節を行っている。法人外の研修は出来る限り参加するよう促している。		
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	洛和会の天津管轄事業所とは月に一度ブロック会議を実施している。他法人等との関わりが持っていない。	○	行政によるフォローアップ研修等への参加を行い、連携が図れるようにしていきたい。
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	福利厚生制度は充実している。また臨床心理士等による相談窓口も設けられている。何より、小さなことも話し合える関係作りをしている。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	日頃より職員の状況を把握し、思いや意見を交換しあい向上心を持って働けるように努めている。		
人材の育成と支援 4項目中 3項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	窓口は相談員が行っており、面接時には困っていることなどを聞くようになっている。また、利用に至るまでも「いつでも電話してください」と伝え受け止める努力をしている。		
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	窓口は相談員が行っており、面接時に聞いている。利用に至るまでも「分からないことがあればいつでも電話してください」と伝え受け止める努力をしている。		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	他事業所とも連携を取り必要としている支援を見極め対応している。		
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前には家族や本人から多くの情報を収集している。場の雰囲気に徐々に馴染めるように入居時は家族にもゆっくりと一緒に過ごしてもらうよう支援している。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	出来ること出来ないことを把握し、出来ることは共に行き、力を発揮できるよう努め、調理方法や掃除の仕方など教えてもらい、分からないことは教えたり支えあえる関係を築いている。		
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族から意見や困っていること、情報を聞いたり、GHで困っていることなど相談したりまた、家族が参加できる行事も計画し共に楽しめる場や支えていく関係作りをしている。		
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用してから家族との外出や、共に過ごす時間を大切にし、入居前と変わらない関係作りや、より良い関係作りを支援している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	希望時には友人へ電話したり、面会に来てもらったり、馴染みのスーパーや美容院などへ外出したりと支援に努めている。		
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	必要に応じて利用者同士の関わりが円滑に行えるように職員が間に入ることもあるが、出来る限り利用者同士が支えあえるように見守りを行っている。		
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	困ったことがあればいつでも相談してくださいと伝えている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 6項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族から情報収集し、センター方式を使用して把握に努めている。		
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から情報収集し、センター方式を使用して把握に努めている。		
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	本人や家族からの情報、日々の記録やセンター方式を活用し把握に努めている。		
一人ひとりの把握 3項目中 3 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族からの生活における希望を聞き、往診医、訪問看護師、職員からも意見を聞き介護計画を作成している。		
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	三ヶ月に一度評価を行い、入院や変化が生じたときはその都度見直しをし新たな計画を作成している。		
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を記入し、情報の共有をしながら見直しに活かしている。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 3 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	現段階では特別な支援は行っていないが、そのような時は要望に応じて柔軟な支援につとめていく		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署との消防訓練は行っているが、そのほかの地域資源との協力は行っていない。	○	必要な場合、様々な資源との協力が行えるよう支援していきたい。
41		<input checked="" type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現段階では他のサービスを利用している方はいないがそのような時は支援に努めていく。		
42		<input checked="" type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現段階では行っていないが本人の意向や必要性に応じたときは協働に努めていく。		
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅時の往診医を継続している方、納得を得られた往診医が二週間に一度の定期往診、及び必要に応じて単発的な往診を受けている。		
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	組織内の専門医や地域の専門医へ受診し連携をとりながら相談をしたり、診断や治療を受けられるよう支援している。		
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週に一度、訪問看護師が来訪し日常の健康管理を行ったり、職員と相談しながら支援している。急変時など24時間体制で支援している。		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病棟の相談員とGH相談員が情報交換をし、必要に応じて医師、看護師、作業療法士、理学療法士、家族、利用者、相談員、GH管理者などで話し合いの場を持ち早期退院に努めている。		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人にて看取り指針があり同意を得ている。重度化した場合は家族、往診医、訪問看護師、職員で繰り返し話し合い、全員で方針の共有に努めていく。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	法人にて看取り指針があり同意を得ている。本人や家族の希望をふまえ、できること・できないことを見極めながら往診医、訪問看護師、職員で話し合い支援していく方針である。		
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人や家族と十分に話し合いを行い、住み替えによるダメージを最小限に抑えるように努めた。		
地域資源との協働 10項目中 9項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	一人ひとりを尊重し、誇りを傷つけないような声掛けや対応に努めている。記録は扉付の棚に保管し、母体では個人情報の研修も行っている。	○	声の掛け方、声の大きさ配慮し、尊厳を保ち続けられるよう、今後も意識していきたい。
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ゆっくりと話を聞き、共に過ごす時間を大切にしながら希望を表せるよう努めている。分かる力に合わせて二者択一などで自己決定の支援をしている。		
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースや希望にそった支援を心掛けているが、業務に追われていることがある。	○	業務に追われてしまう現状があることを理解しながらも、専門職としての専門性を発揮し、どうやって希望を叶えるのかを意識していきたい。
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 1項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	外出時は共に服を選んだりおしゃれをしている。理美容は入居前からの馴染みの店に行っている方もいる。		
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材注文時は広告を見ながら一緒に考えたり、できることを引き出し調理、盛り付けなど一緒に行っている。困難な方は味見をしてもらい意見を聞いている。		
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	状況にあわせて一緒に買い物に行き楽しんでもらえるよう支援している。		
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	介助を要する方、一人ひとりの排泄パターンを把握し、日中はトイレ誘導、夜間はポータブルトイレなどに合わせた排泄介助を支援している。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	いつでも入浴できるように努力しているが前日入っていない方から声掛けをしている為皆の思いには応えきれないがコミュニケーションやタイミングを見計らい楽しく入浴できるよう努めている。無理強いはいしていない。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その日の体調や状況、習慣に合わせ声掛けをしたり、本人のペースに合わせ休息したり、眠れるよう支援している。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	できること・できないことを理解し、力を活かした役割や、敷地内での日向ぼっこや散歩など気晴らしの支援をしている。	○	さらに個人が持っている力が発揮できるよう、支援していきたい。
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望に応じて支援している。		
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出来る限り希望にそって出掛けられる様、支援しているが人員的な理由により必ずしも出かけられるとはいえない。	○	人員配置の見直しも図り、自分らしく生活できるよう支援していきたい。
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の行きたいところを聞き個別にて外出できるように、また職員では困難な場合は家族へ相談をし支援している。		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望しているときは力に応じて支援している。		
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	GH内は清潔であるように心掛け、居心地よい空間作りに努めている。また、家族などには「いつでも気軽に来て下さい」と伝えている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 4項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしていない。職員全員が正しく認識している。また母体にて研修もある。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を掛けていない。夜間は防犯の為に施錠している。		
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	プライバシーに配慮しながら、さりげなく見守り、所在確認をし、安全に配慮している。		
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみなど持っている方もいる。一人ひとりの状態や力に応じて対応している。		
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルに沿った対応をしている。ヒヤリハット報告書の作成をし、一人ひとりに起こりえるリスクの理解と事故防止に取り組んでいる。母体でも研修がある。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	母体で普通救命講習があり全職員参加することとなっている。		
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署との防災訓練は行っているが、地域の方々への働きかけは出来ていない。	○	地域の方々や自治会の方と交流を深め、GHを知ってもらい、協力を得られる様に努めていきたい。
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	カンファレンスで一人ひとりに起こりえるリスクについて話し合っている。家族には面会時や電話等で情報交換をし、理解が得られるよう説明している。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 7項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃の生活の状態から小さな変化を見逃さず、変わりがあれば職員、往診医、訪問看護師へ連絡をしている。介護日誌に記載し周知徹底している。		

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	日々の記録ファイルに薬の説明書をはさみ、常に回覧できるようにしている。	○	服薬による作用、副作用について、職員一人ひとりが理解していけるよう、今後も努めていきたい。
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分摂取をこまめに促したり、食事では食物繊維の多いものを摂取する様に努めている		
76		<input type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝・夕は一人ひとりの力に応じて口腔ケアをしたり声掛けを行い清潔に努めている。	○	毎食後の口腔ケアが実施できるようにしていきたい。
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の摂取量をや水分チェックが必要な方の水分量をそれぞれのチェック表に記入し一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルがあり、いつでも回覧できるようにしている。母体で研修会もある。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日ふきんやまな板などの器具は消毒液につけ、食器類は食器乾燥機にて温風消毒をしている。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 5項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	看板があり、玄関周辺の清潔を心掛けている。また花を育てたりもしている。	○	季節の植物を育てるなど、親しみやすい環境づくりをしていきたい。
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食事作りの音やコーヒーの匂いなど家庭的な雰囲気作りをしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室にはコタツを置き、リビングから見えないところにはゆったりと過ごせるソファを置き思い思いに過ごせるスペース作りに努めている。		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談しながら畳の部屋にしたり、馴染みの家具など使用し、居心地よく自分らしく過ごせるように工夫している。		
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	こまめに換気を行い空気の流れを作っている。リビング、廊下2箇所に温度計、湿度計を設置し確認している。霧吹きで乾燥予防をしている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 4項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレには手すり、浴室には手すりやすべり止めマットと最小限の設置にて安全への配慮に努めながら出来る限りの力を活かせるよう工夫している。		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	できること、わかることの把握に努め、できることは力を発揮で出来るよう工夫し、出来ないことはケアすることで混乱や失敗を防いでいる。		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	敷地内でベンチに座り日向ぼっこや、鳥の囀り、外気浴など自然を感じたり、敷地内の掃き掃除など活動に活かしている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ○ ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

緑豊かな環境であり、閑静な住宅地に立地している。様々な経験を持つ各職員が、今年度は更なるグループホームケアの充実を目指し、毎月1回の認知症勉強会を行っている。制度（人員基準）等の壁により、必ずしも十分に利用者の希望を叶えられないことに憤りを感じながらも、如何にして希望を叶えていくか？を各職員が考えて支援にあたっている。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	1 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	1 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	5 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	3 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	9 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	1 項目/3項目
－1. (2) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	4 項目/6項目
－1. (4) <input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	7 項目/8項目
－1. (5) <input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	5 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	4 項目/5項目
－2. (2) <input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (5項目/5項目)について

地域との交流については、散歩や日向ぼっこの際挨拶を交わしたり、話しをしたり心掛け行っているが、理念の浸透には未だ程遠い。自治会へ加入しているものの、地域活動の参加も出来ていない。まずは地域活動への参加を行い、GHIに対する理解が得られるように努めていく。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (2項目/2項目)について

入居前には本人や家族から困っていることや希望など聞き、入所後も把握に努め、利用者の力を発揮できるよう笑いあい、助け合いながら共に生活しながら信頼関係を築いていけるよう努めている。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (4項目/4項目)について

本人や家族から情報収集し、センター方式を活用しながら出来ること、出来ないこと、習慣など理解に努めている。自分らしく生活出来るよう日々の情報を共有しながら3ヶ月に1度評価を行い、変化に応じてプラン作成をしている。往診医、かかりつけ医、訪問看護師とも連携している。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (7項目/7項目)について

本人の希望や力に応じて出来ること、出来ないことを理解し出来ないことはさりげなくケアし、出来ることは力を発揮できるよう社会面、健康面、安全面の環境作りを行っている。認知症の人を支援するという視点ではなく、ひとりの人間であることの当たり前の理解からの視点において、自分らしさとは何かを意識しつつ、日々のケアに取り組んでいる。

V サービスの成果に関する項目について

言葉で表すことが困難な利用者の場合、家族からの情報やセンター方式、本人の表情、行動、声掛けなどから思いや希望を感じ取り支援しているが、全ての利用者が本人のペースで生き生きと生活出来ているとは言えない。どうしても人員的な基準の面からも、個別ケアにかかる時間を多く取ることが出来ず、外出の機会を持つことが極めて難しい現状である。地域との関わりが行えておらず、今後の取り組みが重要である。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日: 22年 5月 19日

前回評価年月日: 21年 5月 27日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ~ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
5	1	地域との交流	2010/6/27~	琵琶湖一斉清掃への参加から、今後の地域交流につなげていく。		
6	2	地域貢献	2010/7/1~	ホーム便りを発行し、認知症の説明や、相談窓口の設置など、地域における役割をになう。		
3	3	地域家族への理念の浸透	2010/7/1~	上記、ホーム便りに記載し、その浸透を図る。		
52	4	その人らしい暮らし	随時	人間的な理由があることを理解しつつ、どうすれば自分らしく生活出来るのかを常に意識する。		
61	5	日常的な外出	随時	人員配置の見直しも含め、外出すると言う当たり前の行動を出来る限り支援出来るようにする。		
59	6	役割・楽しみ・気晴らしの支援	随時	アセスメントを十分に行い、潜在能力を見極め、出来ていたことが再び出来る様という視点を持って支援する。		
76	7	口腔内の清潔保持	随時	日々を健康的に過ごせるよう、毎食後の口腔ケア実施の支援を図りたい。		
74	8	服薬支援	随時	日々を健康的に過ごせるよう、服薬についての理解を更に深めたい。		
71	9	災害対策	2010/6/27~	地域交流を深め、いざと言うときに協力しあえる関係作りを少しずつ進めていきたい。		
80	10	玄関周りの工夫	随時	季節の花を育てるなど、華やかな雰囲気作りをし、過程的な環境を作りたい。		